

人工膝・股関節置換術および脊椎インストゥルメンテーション手術部位感染の全国調査（J-DOS）

ホームページおよび外来公示用文書

第5版 作成 2025年1月20日

令和7年1月20日

岡山大学病院 第1版 作成 2025年12月17日

患者さん・ご家族様へ

臨床研究へのご協力のお願い

研究課題名：人工膝・股関節置換術および脊椎インストゥルメンテーション手術部位感染の全国調査

研究概要：

通常、整形外科で行われる手術では、術後の手術部位感染（surgical site infection：以下SSI）はおむね1～5%程度と報告されています。SSIが起こると、時に再手術が必要となり、患者さんは著しい機能障害を被ることとなります。SSIは術後の深刻な合併症であり、その撲滅のためにいろいろな研究が行われてきました。

より良い対策を講じるためには、どのような状況で、どのような細菌が感染しやすいのかなどをしっかりと把握する必要があります。また、その傾向は国や施設によっても異なり、整形外科手術とそれ以外の手術でも異なる可能性があります。しかし、未だ国内では整形外科手術に特化した良質な調査は不十分であり、十分に実態が把握されていません。

そこで、当院では清潔整形外科手術に特化したSSI大規模調査の重要性を考え、日本国内の複数の施設で共同して行っている「人工膝・股関節置換術および脊椎インストゥルメンテーション手術部位感染の全国調査」に参加しております。本研究の目的は、多施設から収集された大規模なデータを詳しく分析することにより、SSIが起こりやすい因子を予見し、より効果的な対策を考案しようとするものであります。

方法は、当院整形外科に入院し、下肢人工関節置換術あるいは脊椎に対して金属固定を受けられた患者さんを対象に、手術後90日以内に起こった術後合併症について、SSIを中心に通常診療で得られた既存情報を診療録から抽出し、調査させていただくというものです。特別な検査や手術を行うことはありませんので、本研究を行うことで術後の傷の治り方や経過に影響が出ることはございません。

調査内容の詳細についてはお気軽に主治医にご確認ください。

対象となる患者さん

2025年4月1日～2035年3月31日に当科において、初回人工関節置換術（股関節・膝関節）と脊椎インストゥルメンテーション手術（頸椎・胸椎・腰椎・その他）を受けられた方。

提供する情報

- 1) 患者基本情報 手術日、手術時年齢、性別、身長、体重、罹患部位、手術時間、出血量等
- 2) 背景情報 入院日、人工関節／インストゥルメンテーションの種類、原疾患、並存症（糖尿病、透析歴、関節リウマチ等）、内服歴等
- 3) 手術関連情報 輸血、予防抗菌薬の種類・投与期間、術野の消毒法等
- 4) 術後関連情報 ドレーン留置期間、術後血糖値等
- 5) アウトカム SSI の有無 再手術の有無 生命予後等

研究期間（データ解析期間を含む）

研究機関の長の許可日～2035年3月31日

情報の提供開始予定日：研究機関の長の許可日から1週間後

公示期間

研究機関の長の許可日～2035年3月31日

研究代表者

一般社団法人 日本骨・関節感染症学会 森井 健司

研究機関名およびその長の氏名

岡山大学病院 前田 嘉信

研究への参加辞退をご希望の場合

この研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では当科において管理している患者さんのデータを使用させていただきます。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。しかしながら、様々な理由により本研究への参加を辞退される場合には、遠慮なく担当医師へご連絡下さい。本研究への参加は患者さんの自由意志であり、参加の辞退を希望されても患者様が不利な扱いを受けることは一切ありません。参加を辞退される方は、上記の公示期間内に下記の担当医師へご連絡下さい。なお、公示期間の後でも、可能な限りご希望に沿って対応いたします。

いつでも相談窓口（担当医師）にご相談下さい。

施設名：岡山大学病院 整形外科

研究責任者：尾崎 敏文（教授）

担当医：依光 正則、山田 和希、小田 孔明、岡崎 勇樹、近藤 宏也

連絡先：086-235-7273（平日 9:00～17:00）